

2022 年度 部局 FD 活動報告

工学部・工学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。(必ずご記入ください)</p> <p>工学研究科の全教員を対象とした FD 集会は、公立大学工学教務委員会で企画している。その他教育改善に係わる情報も工学教務委員会で共有している。また、各学科・分野ごとに FD 会議を開催することで、各科目や各教育課程に関する改善や情報共有を個別に行っている。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会, セミナー, ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容 (タイトル)	参加者数
2022.09.02	工学 FD セミナー「教育改善のためのポートフォリオシステムていら・みず活用法」	260 人
2023. 01.20	都市系専攻開学シンポジウム (総合知で都市の課題に取り組む)	140 人程度
2022.12.02	「修士課程で論文投稿~日本の論文数を増やせるのは学生です~」(全学対象)	30 人
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議, 委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回 (*月*日) ~について」「第 2 回…」と記載)	委員の人数
第 1 回工学 FD 報告会	2022 年度の工学研究科の各学科・専攻における FD 取り組みの概要を発表し, 情報を共有した (3 月 13 日)	23 人
航空宇宙工学 FD 会議	月 1 回の教室会議において, 学生の履修状況や学習成果についての点検・評価と, 教育の質の改善・向上に関する検討を実施: 12 回	11 人
2022 年度第 1 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2023 年度以降機械工作実習の実施内容の検討, 総合型選抜入試の広報, 2024 年度入試以降の内容についての検討 (4 月 26 日)	12 人
2022 年度第 2 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2024 年度以降の総合型選抜, FD 外部評価委員選定, JABEE 実地審査受審について協議 (5 月 24 日)	12 人
2022 年度第 3 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2024 年度以降の総合型選抜, 内部質保証スタートアップ事業, JABEE 実地審査受審について協議 (6 月 28 日)	12 人
2022 年度第 4 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	JABEE 実地審査受審受審報告, 2023 年度総合型選抜第 2 次選考内容, 新大学「プロジェクト 1~3」の内容再検討について協議 (7 月 26 日)	12 人
2022 年度第 5 回海洋	前期成績情報報告, JABEE(内部質保証)エビデンス資料の	12 人

システム工学科/分野 FD 会議	保管期間について、転学科の選考方法・条件等について協議（9月27日）	
2022年度第6回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	転学科の出願要件・選考方法について、2023年度時間割の検討、2023年度総合型選抜第2次選考振り返り、大学院の修了要件について協議（10月25日）	12人
2022年度第7回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	2023年度時間割の検討、2022年度前期成績分布について協議（11月22日）	12人
2022年度第8回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	2023年度時間割の確認、2022年度入学者成績分析について（12月28日）	12人
2022年度第9回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	卒業研究ルーブリックの内容確認、外部評価委員会の開催および内容について、大学院博士前期課程の履修要件についての検討（1月24日）	12人
2022年度第10回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	ルーブリックを用いた卒業研究評価について協議、2023年度以降の機械工作実習の内容検討（2月28日）	12人
2022年度海洋システム 工学科/分野 FD 外部評価委員会	分野 FD 外部評価委員会を開催。以下の内容を報告し、外部評価委員の方々より、評価・ご意見を頂戴した。 ・2022年度活動報告（入試・教育・研究） ・JABEE 審査結果 ・入学者分析、分野将来構想、研究発信状況（3月14日）	20人
2022年度第11回海洋 システム工学科/分野 FD 会議	外部評価委員からのアンケート内容の共有、海洋システム工学概論の内容について協議（学内施設見学の実施、海事産業系工場見学会の検討）（3月28日）	12人
第1回機械工学科 (杉本)FD 会議	公立大機械工学科提供の設計製作実習の実施内容の検討（2022年5月18日）	21人
第2回機械工学科 (杉本)FD 会議	公立大機械工学科提供の機械工作実習の実施内容の検討（12月1日）	19人
機械工学科・教育点 検・生活指導委員会 (中百舌島)	授業実施における問題の情報共有と、欠席過多学生や成績不良学生の情報共有、対応者の確認（5月31日、6月28日、7月26日、10月6日、12月1日、1月26日、3月30日）	21人
建築学・第9回学科会 議	学科学生教員合同 FD 会議の創設について（2月27日）	14人
第1回都市学科 FD 会 議	2021年度の卒業・修了時アンケート及び3ヶ年（2019-2021）の比較結果、2021年度後期授業評価アンケート結	19人

	果の共有（6月27日）	
第2回都市学科FD会議	卒業研究評価，GP学科比較，新大学1回生の履修状況の共有（3月27日）	20人
電子物理系FD会議	専攻教授会：12回	17人
電子物理工学（電子物性コース）FD会議	担当者会議：11回 教室会議：11回	10人 30人
第1回 電子物理工学実験（電子物性コース）FD会議	公立大電子物理工学科提供の電子物理工学実験1（なかも）の実施内容の検討（3月16日：今年度分のFD活動を前年度のうちに実施）	8人
第2回 電子物理工学実験（電子物性コース）FD会議	公立大電子物理工学科提供の電子物理工学実験2（なかも）の実施内容の検討（7月28日）	8人
電子物理工学（電子材料コース）FD会議	教室会議：10回	16人
第1回情報工学科FD会議	公立大情報工学科の授業実施内容の検討（2月28日）	28人
電気電子システム工学分野・分野教育委員会	分野全体で担当している講義の実施方針に関する打ち合わせ等（月例/4月・8月休会。10回。メール開催を含む）開催予定含む	毎回7名
電気電子システム工学分野・月例/分野教育改革会議	部局の教育委員会の情報共有し，分野の教育方針の審議などを行う（月例/8月休会，11回開催）開催予定含む	毎回22名
電気電子システム工学分野・実験委員会(1回)	分野が担当する実験に関して方針，学生の受講状況などを共有する。	10名
応用化学科 教育委員会	応用化学概論（公立大での新設科目）及び演習科目の実施内容検討 第1回（10月17日）実施内容の確認 第2回（11月14日）次年度に向けた授業改善の検討	12人/回
応用化学科 教室会議	演習・実験科目の実施状況及び公立大での新設科目準備状況の情報共有と検討 （第1回7月25日，第2回12月26日）	30人/回
化学工学・2022年度第2回教室会議と職員会議（4月25日）	公大化学工学科の化学工学序論の実施方法の検討と在学生の履修指導，新2年生，新3年生の数学や物理の履修に問題のある学生を抽出し，学生アドバイザーからの面談報告，新4年生の研究室配属後の状況について，博士前期学生の就職状況について，博士後期学生の博士論文についての進捗状況の確認	15人
化学工学・2022年度	教務委員会/教育運営委員会報告，専門科目授業の進捗状	15人

第3回教室会議と職員会議（5月30日）	況の確認、在学生の履修指導、博士前期学生の就職状況について、化学工学序論や化学工学英語演習の実施状況について、博士後期学生の博士論文についての進捗状況の確認、編入学試験の実施状況についての確認	
化学工学・2022年度第4回教室会議と職員会議（6月27日）	教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況の確認と中間試験の成績不審者について、博士前期学生の就職状況について、化学工学序論や化学工学英語演習の実施状況について、編入学試験の実施状況	15人
化学工学・2022年度第5回教室会議と職員会議（7月25日）	教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況の確認と成績不審者および多回欠席者について、博士前期学生の就職状況について、化学工学序論の研究室見学や化学工学英語演習の成績の付け方について、前期授業の成績不審者や実験科目のレポート提出状況について	15人
化学工学・2022年度第1回臨時教室会議と職員会議（8月24日）	大学院入試の状況について、化学工学談話会について、大学院A群科目の評価について、9/2の工学FDセミナーへの参加依頼、就職状況について、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者について	15人
化学工学・2022年度第6回教室会議と職員会議（9月26日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、博士前期学生の就職状況について、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況について	15人
化学工学・2022年度第7回教室会議と職員会議（10月31日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業について、博士前期学生の就職状況について、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況について、4年次進級が危ぶまれる学生についての面談結果について、タイ国ナレスアン高校の大阪公立大学訪問と研究室見学について、学部編入生に対して、本学域教育内容と単位認定科目間のギャップを埋めるために入学前に勉強しておくべき範囲について、博士前期課程学生への大学院博士後期進学・就職についての説明会について	15人
化学工学・2022年度第8回教室会議と職員会議（11月28日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、博士前期学生の就職状況について、3年次学生の研究室紹介であるオープンラボについて、成績等のガイダンス資料について、3年次編入生へのガイダンスについて、学会関連で学生発表会および地方大会について、博士後期課程学生の博士論文の論文投稿状況について	15人
化学工学・2022年度第9回教室会議と職員会議（12月26日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、博士前期学生の就職状況について、オープンラボの実施報告、卒論・修論・大学院博士前期1年学生の間発表について、在校生オリエンテーションについて、博士	15人

	後期課程学生の博士論文の論文投稿状況について、理系学生向け春休み英語スキルアップ研修参加者募集について	
化学工学・2022年度第10回教室会議と職員会議（1月30日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、2023年度学生必携PCの部局独自スペックについて、大学院博士前期1年学生の間接発表の表彰について、卒論と修論発表会の配布要旨の取扱いについて、博士後期課程学生の博士論文提出・査読状況について	15人
化学工学・2022年度第2回臨時教室会議と職員会議（2月15日）	2023年度授業の実施方法について、2023年度学生必携PCの部局独自スペックについて、後期授業の成績不審者や実験科目のレポート提出状況について、卒論と修論発表会について、博士後期課程学生の公聴会について、2023年度化学工学序論の内容について	15人
2022年度化学バイオ工学科・化学生物系専攻FD集会	2022年度化学バイオ工学科・化学生物系専攻FD集会（10月26日）にて、以下の項目について確認および討議を行った。 ○入試状況の確認 ○教育プログラムごとの振り返り ○成績分布資料の確認、成績分布資料の確認と意見交換、授業担当者への確認 ○各種指標（GPA）の推移の確認	19人
量子放射線工学分野FD会議（月一回）	専攻提供の講義の実施内容の検討と計画、及び学生の研究状況取り組み状況の報告などFDに関する議論	13人

4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組（但し、成績GP分布関連は次項に）

（工学全体）

・2022年度に入学した学部生および大学院生を対象に入学時アンケートを実施し、本学で身につけたい能力や将来取得したい学位など幅広い項目で調査を行なった。結果は工学部内で共有した。

（航空宇宙工学科，航空宇宙海洋系専攻航空宇宙工学分野）

- ・新入生オリエンテーション，学年ガイダンス
- ・授業評価アンケートの実施と授業改善の検討
- ・卒論発表優秀賞，および修論発表優秀賞，修論アイデア賞の選出

（海洋システム工学科，航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野）

- ・内部質保証のために、カリキュラム達成目標（DP）に対する学生の達成状況を明確化するポートフォリオを作成した。
- ・7月にJABEEの継続審査を受審した。その結果全項目S（満足）の評価をいただき、継続が認められた。
- ・卒業研究ルーブリックの確認・見直しを行った。一定の基準下で評価することにより、複数教員による採点のばらつきを少なくすることができる。
- ・2024年度以降の総合型選抜の見直し案を検討した。2024年度入試の内容変更は見送ったが、入

学者の動向の調査を継続し、長期的な視野で内容を検討していく。

- ・例年通り、年1回の教育プログラムに対する外部評価委員会を3月に開催した。外部評価委員より、新大学の学生動向の調査と旧大学との比較分析、卒業生による教育プログラムの評価、入試制度の精査などが課題との指摘を受けた。

(建築学科，都市系専攻建築学分野)

- ・月1回程度開催される学科会議において、学生の就学状況に関する情報を共有し、必要な場合には対策について協議・検討を行った。

- ・外部講師を招いた講評会において卒業設計最優秀賞を授与した。

- ・学科での卒業証書授与式において、建築学科賞（論文）および建築学科賞（設計）をそれぞれ授与した。

- ・学科OB・OGによる職業ガイダンスを実施した。

(都市学科，都市系専攻都市学分野)

- ・月1回程度学科会議を開催し、各学年の学生の履修状況を随時確認した(学生アドバイザーによる)。その結果、学科1回生に対してTAによる「数学補講」を実施した。

- ・学科の新大学カリキュラム，将来構想に関する改善の方向性について議論した。

(電子物理工学科，電子物理系専攻)

○共通

- ・カリキュラムオリエンテーションを利用して、新入生が大学生活を滞りなくスタートできるように、新入生向けの導入研修を実施した（4月2日実施）。

- ・学部生，院生（M,D）向けのオリエンテーションを実施し，大学生活および単位修得に関する注意喚起を行った（4月2，4，14日実施）

- ・教室会議において，入学試験及び入学時アンケートの情報を共有した。

- ・特に「電子物理工学概論1,2」の成績を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。特に「電子物理工学概論2」では1年生の意識調査に関するアンケートを実施し，学科内で共有した。アンケート結果を基にして，次年度はより充実した講義にするための意見交換を行った。

- ・工学FDセミナー等の学内FDセミナーに参加した（詳細は7.で説明）。

○電子物性コース（中百舌鳥キャンパス）

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し，教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

- ・前期・後期に実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。

- ・卒業・修了時アンケートの情報を共有した。

- ・特にM2怠惰学生に対する指導ルールの厳密に設定した。

- ・教育PDCAサイクルを実践すると同時に課題点を洗い出し，講担会議・教室会議（各11回）を通して，解決に向けた検討を行った。これまで不十分であったチェック体制を見直し，次年度以降，学外チェック委員を置くこととし，依頼・快諾いただいた。

- ・大学コンソーシアム大阪主催「高大接続フォーラム」に参加した（1名2回）。

- ・電子物理工学実験I,IIについて，出席・レポート提出状況を担当教員以外にも参照できるようにすることで，主任や学年アドバイザーの教員等が適宜サポートできる体制を整えた。

- ・大学院講義において海外からの特別履修生対象に，講義内容の理解を助けるための英文の補足資料を作成して提供した。最終レポートの記述内容より講義理解に有効であったことが確認できた。

- ・学生が就職した後でも修士課程での研究成果を論文投稿できるように執筆指導を体系化した。その

成果があり、昨年卒業した修士学生 2 名が卒業から半年以上たった後で論文投稿して、1 名は掲載、1 名は査読中である。

・アセスメントシートに基づく点検について講担会議および教室会議で情報共有・意見交換を行い、点検内容に問題がないことおよび実効性が伴っていることを確認した。

○電子材料コース（杉本キャンパス）

・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

・前期・後期実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。

・卒業・修了時アンケートの情報を共有した（予定）。

・旧市大生向け電子・物理工学実験Ⅱの成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。かつ実験テキストの作成スケジュールを議論し確認した（2/15 付）。

・電子・物理工学実験Ⅰで開講するテーマ「研究開発実務研修」での工場見学先を実験科目担当教員全員で協議し、電子物理工学にかかわりの深い電力および次世代先端的エネルギー産業をになう関西電力堺港発電所と hidro エッジ株式会社を訪問先として決定した。

・電子・物理工学実験で必要な物品を実験科目担当教員全員で協議し、ノートパソコン、オシロスコープ、ポスター発表のための用紙やインクなどの物品購入を行い、実験を滞りなく遂行できるようにした。

・電子・物理工学実験ⅠとⅡにおいて、実験科目担当教員全員で新型コロナ感染・濃厚接触者疑い状態での欠席時の対応について協議し決定をした。

・電子・物理工学実験Ⅰの成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。

・教育内容（講義ノート）の情報を共有した。

1) 計算物理学演習, 2) 統計力学Ⅰ

(情報工学科)

・FD 会議において、授業の内容や学生の履修状況に関する情報交換を行い、改善点について検討した。

・特に成績が不振な学生については個別に対応を行った。

・Microsoft Azure Dev Tools for Teaching を情報工学科で契約し、所属学生が授業の自習・研究に利用可能なプログラミング開発環境を提供した。

・半期ごとに、各学年の学生の履修状況を随時確認した。

(電気電子システム工学科, 電気電子系専攻)

・大学の実施する学生アンケートを学科独自で集計を行い、教員間で共有した。

(府大電気電子システム工学課程)

・新大学での読替え科目のない必修科目の単位未習得者の単位習得を進めるため、分野全教員間で情報を共有を行なった。

・3 年生後期の実験科目のまとめとして成果発表会を実施した。実験担当以外の教員も参加し、実験担当者以外の視点からのコメントを行った。コメントは学生がレポート内にまとめることで実験担当者が共有した。

・3 回生の研究室配属先選択の一助とするため 12/5~9 に分野全研究室の研究室見学会(オープンラボ)を開催、また、M1 科目のポスター発表会を実験科目の中に組み込んだ。

(市大電気情報工学科)

・3 年生の研究室先行配属のために、10/26 に市大・電気情報工学科教員全員での会議を開催し、成

績確認・配属方法・配属候補学生の検討を行った。

(応用化学科，物質化学生命系専攻応用化学分野)

- ・実験科目については，実験内容によって指導方法を異なるため各教員で様々な取り組みを行っている。教員の指導方法を改善・向上させるため基礎化学実験（1年次配当科目），応用化学実験（2・3年次配当科目）についてピア授業参観を実施した（延べ73回参観（教員一人当たり2.4回参観））。
- ・2019年度から実験科目について個別実験にする授業改善を進めてきた。次の課題として演習科目に関する見直しを開始し，関連講義科目との関係性を再確認した。また，3クラス編成で開講しているためクラス分けの方法（習熟度別など）など検討を行った。

(化学工学科，物質化学生命系専攻化学工学分野)

○学部・課程

- ・化学工学科（1年生）および化学工学課程（2-4年生）では，4月および必要な時期に，学年ごとにとりまとめたガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き，学生の履修相談等に積極的に助言を与える。
- ・授業の履修や学生生活における相談窓口として，学生アドバイザーに加え，いつでも教員と相談できるコンタクト教員制度を導入し，修学・進路・家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに，指導または助言を与える。
- ・毎月授業の履修・出席状況を確認し，教室会議終了後の職員会議で報告し，学生アドバイザーやコンタクト教員による対応など，問題解決のための協議をする。
- ・独自のマークシート式の授業アンケート，職員会議，カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い，教育の質の改善・向上に生かす取り組みを続ける。
- ・教育の内部質保証を目指して，2021年度から，化学工学に関する外部試験の受験を奨励しており，学卒の程度の化学工学に関連した専門的应用能力を持っている「技術者」「研究者」を対象にした，「化学工学技士（基礎）」の受験を今年度も学域卒業予定者推奨し，その合格率や平均点などを今後の教育に反映する。

○大学院

- ・博士前期課程および博士後期課程のすべての学年に対して，ガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き，学生の履修相談，研究の進捗などに積極的に助言を与える。また，大学院博士後期課程進学における経済的なサポート状況などの大学や工学研究科の制度などを詳しく説明する説明会を開催する。
- ・就職など分野独自の説明会を開き，修学・進路についての相談を受け付ける。
- ・指導教員のみならず分野長，副分野長，教務委員などが，家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに，指導または助言を与える。
- ・毎月授業の履修・出席，研究室での研究の進捗状況を確認し，教室会議終了後の職員会議で報告し，研究指導教員による対応など，問題解決のための協議をする。
- ・大学院の博士後期課程学生の博士研究の進捗状況を分野全教員で共有する。
- ・独自のマークシート式の授業アンケート，職員会議，カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い，教育の質の改善・向上に生かす取り組みを続ける。

(マテリアル工学科，物質化学生命系専攻マテリアル工学分野)

- ・2022年度に入学した学部生および大学院生を対象に入学時アンケートを実施し，本学で身につけたい能力や将来取得したい学位など幅広い項目で調査を行なった。結果は工学部内で共有した。

(マテリアル工学科, 物質化学生命系専攻マテリアル工学分野)

- ・毎月開催される教室会議と合わせて、学科FD 会議を実施する。成績不振者への対応、授業アンケート集計結果の共有など、FD 全般について議論する。
- ・学校推薦型選抜合格者に対して、入学前学習指導を行い、学力向上を図る。
- ・副指導教員制度を見直す。学生本人の希望に基づき副指導教員を決定し、定期的な面談を行うことで、精神的なケアを含む研究指導のサポートを行う。
- ・ピア授業参観を促進し、年1 回以上の参加を強く推奨する。
- ・卒業研究終了時に、学部4 年間の学習に関する総合的なアンケートを実施し、次年度以降のFD 活動へ反映させる。
- ・定年退職等に伴う教員人員構成の変化に対応し、授業担当者の見直しを行う。
- ・外部研究者を招いたコロキウムを開催し、最先端の研究内容について学ぶ機会を設ける。

(化学バイオ工学科, 物質化学生命系化学バイオ工学分野)

- ・1-3 回生全員に対し、学生自身による単位取得状況振り返りの機会を設けるとともに、教員との個人面談を行い履修計画に対するアドバイス等を行った。4 回生および大学院生に対しては、所属研究室での対応を行った。
- ・月1回開催の学科・分野会議において、注意が必要な学生の動向に関する情報を共有し、適宜対応を協議した。

(量子放射線系専攻)

- ・学内外で開催されている放射線教育関連の催し等の機会を通じて中学・高校教員等の意見交換し、その中で得られた情報を上記 FD 会議で共有し、その成果を分野の教育活動に役立てた。

5. 成績 GP 分布, GPC データの分析に関連する事柄 (必ずご記入ください)

提供を受けた専門科目の GPC を、2022 年度前期・後期ごとに公大科目, 市大科目, 府大科目に分類し、各学科・分野・専攻ごとに GPC の平均と標準偏差を算出した。集計結果を公大工学教務委員会で説明した。さらに各学科・専攻で共有することで、各授業担当者の採点時の参考にしていただいた。

6. 年に 1 回以上, FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

- ・年に 1 回以上, FD 活動に参加した専任教員の人数 (263) 人
- ・所属内の専任教員の人数 (263) 人

7. その他, 追記事項

(航空宇宙工学科, 航空宇宙海洋系専攻航空宇宙工学分野)

- ・航空宇宙工学科では、編入学試験問題作成委員会を組織し、各年度の試験問題について検討している。航空宇宙工学分野では、大学院入試委員会(専門基礎/専門科目作成委員会)を組織し、各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。

(電子物理工学科, 電子物理系専攻)

○電子物性コース(中百舌鳥キャンパス)

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・学生の成績(GP)を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

○電子材料コース(杉本キャンパス)

- ・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・学生の成績（GP）を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。
- ・旧市大生向け電子・物理工学実験Ⅱの成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。

○セミナー等の参加状況

2022.05.28 令和4年度入研協大会（第17回）主催：大学入試センター 参加1名

2022.07.08 全学FDセミナー「feedback studioとwebクリッカー 教育をよりインタラクティブにする2つのツールの活用法」 参加10名

2022.10.12 第1回教育改革フォーラム「あらためて Faculty Development について考える」 参加2名

2022.10.13 2022年度第1回高大連携フォーラム「高大接続らからみた探究活動」（主催：大学コンソーシアム大阪）参加，大学コンソーシアム大阪・高大連携推進委員会・委員長として企画から従事1名

2022.11.04 第1回FD研究会「大阪公立大学におけるFDのあり方について考える（1）」 参加3名

2022.11.05 大学入試センター・シンポジウム2022 主催大学入試センター 参加1名

2023.02.16 FD研修会「理論物理と数学」 参加1名

オンデマンド アクセシビリティセンター研修 参加9名

（電気電子システム工学科，電気電子系専攻）

・学生に大学院後期課程進学後のキャリア例を示すため企業出身の先生および後期課程から企業に就職したOBを招き，電シスの主催でキャリアセミナーを開催した。

・月例の分野教育改革会議でPlan, Actを回すことにより，課題が生じた際に迅速な対応ができるようにしている。

（化学工学科，物質化学生命系専攻化学工学分野）

・学部や課程のGPAの値と1-2回生配当の数学や物理学，化学の単位取得状況と成績との相関や微積分学や線形代数学，常微分方程式のCまたはD判定学生の2年次以降の専門科目成績との相関関係などを分野内委員会の内部質保障委員会でメール審議し，専門科目である移動速度論や数学演習を担当する教員と共有し，授業の理解不足や成績不振者の指導に活かす取り組みをしている。